

SHIBASHIN
芝信用金庫



芝信用金庫本店

業務のご報告

第102期

令和7年4月1日 ▶ 令和8年3月31日



浜松町・芝・大門百景(東京タワー)

SHIBASHIN
芝信用金庫

基本理念

芝信用金庫は協同の精神に基づき、社会の繁栄に貢献します。

経営理念

私たちは共に歩み続けます

「お客さまの幸せ」「地域の発展」「職員が輝く未来」のために、どんな時でも一番身近な存在として、寄り添い、支えあいたい。その想いを「私たちは共に歩み続けます」という一文に込めています。

お客さまの幸せのために

「お客さまの幸せ」は、夢や豊かさなどカタチは様々です。一人ひとりのお客さまの幸せを願い、誠実に向き合います。

地域の発展のために

「地域の発展」とは、この街の魅力が高まることです。そのために、私たちは金融支援の枠を超えて未来へつなげる街づくりに取り組みます。

職員が輝く未来のために

「職員が輝く未来」とは、誰もが誇りを持ち活力や笑顔に満ちた姿です。個性を活かし多様性を尊重する職場を目指します。

行動指針

1. いつも笑顔と感謝の気持ちを忘れずに行動します。
2. お客さまと誠実に向き合い、ニーズに沿った提案をします。
3. 地域の一員として、このまちの魅力を高める活動に日々取り組みます。
4. 職員が互いを尊重し、挑戦を後押しできる職場を目指します。
5. 芝信用金庫の職員として誇りを持ち、前を向いて、成長を続けます。

概要

店舗数	49店舗(都内38店舗 横浜市内 8店舗 川崎市内 3店舗)
出資金	133億33百万円
会員数	57,908名(個人36,747名 法人21,161名)
職員数	725名
預金積金	1兆1,188億円
貸出金	6,012億円



理事長 保科 知行

会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、芝信用金庫第102期の事業概況と決算内容をご報告させていただくにあたり、平素より格別のご愛顧を賜りまして衷心より御礼申し上げます。

日本経済は、非製造業を中心とした企業業績の改善、日経平均株価の史上最高値の更新、継続した賃上げの実施等、インフレ経済の好循環による正常化の動きが強まっています。しかしながら一方で、米国の関税政策による自動車や鉄鋼関連の輸出の減速、日中関係の悪化や中東情勢・ウクライナ情勢の緊迫化による原油価格の高騰等の下押し要因が景気の本格的な回復を阻んでいます。

個人消費につきましては、賃上げによる所得改善が見られる一方で、食料品全体の値上げの動きが根強く、長引く物価高により消費者の節約志向を強めております。

中小企業・小規模企業にとりましては、高市政権の掲げる積極的な経済対策と賃上げによる所得環境の改善を下支えとして経済活動を後押しすると見られる一方、長期化するウクライナ情勢や中東情勢の不安定化、米国の関税政策等、世界経済の先行きが不透明な部分もあり、今後も予断を許さない経営環境が続くものと思われます。

このような状況の中で、芝信用金庫は、地域経済・社会の発展に一層貢献すべく、金融仲介機能の発揮と地域密着型金融の深化等の諸施策に取り組んでまいりました。

その結果、第102期の決算は後記のとおりとなりました。

収支状況につきましては、経常利益2,606百万円、当期純利益は1,833百万円を計上しました。自己資本比率は13.72%となり国内基準の4%を大きく上回り、皆様の信頼にお応えできる堅実な経営体質となっております。

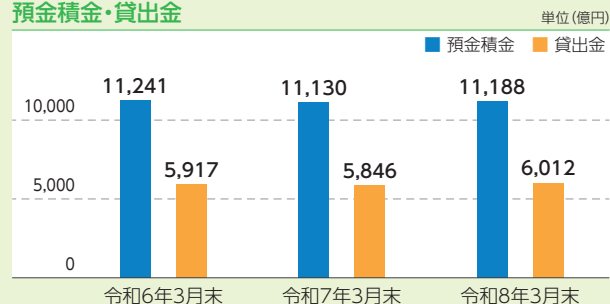
芝信用金庫は、「お客さま、地域、役職員の豊かな未来へ向け確固たる礎を築く」を主題とした新中期経営計画「Next Challenge 2028 次の100年へ向けて～未来を変えよう！新章の開幕～」を策定し、その実現に向けた取組みを行っております。100年の歴史を持つ信用金庫にふさわしい矜持を保ち、役職員一同、更なる努力を続けてまいります。

会員の皆様におかれましては、今後も変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、切にお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

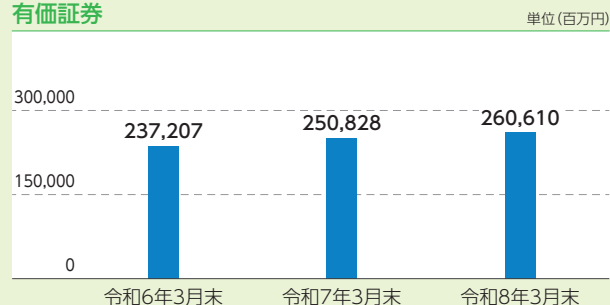
令和8年6月

業績の推移

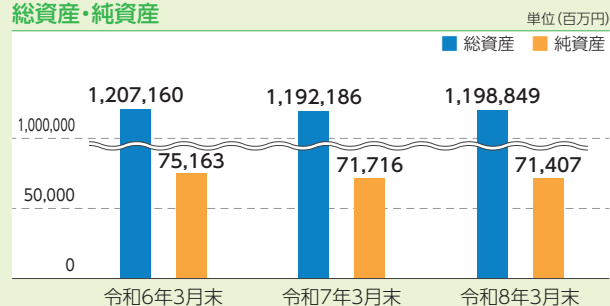
預金積金・貸出金



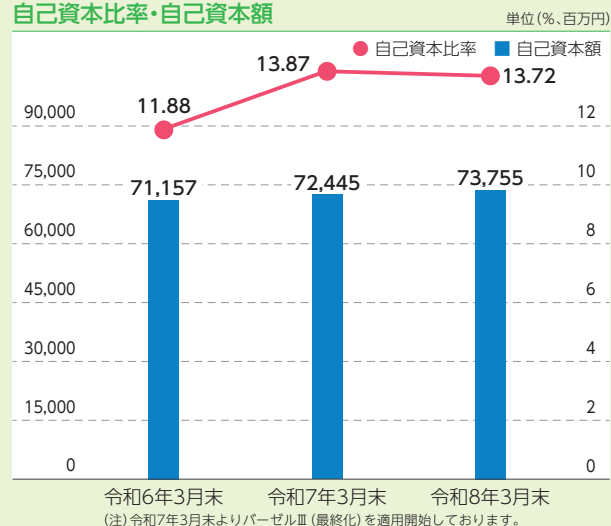
有価証券



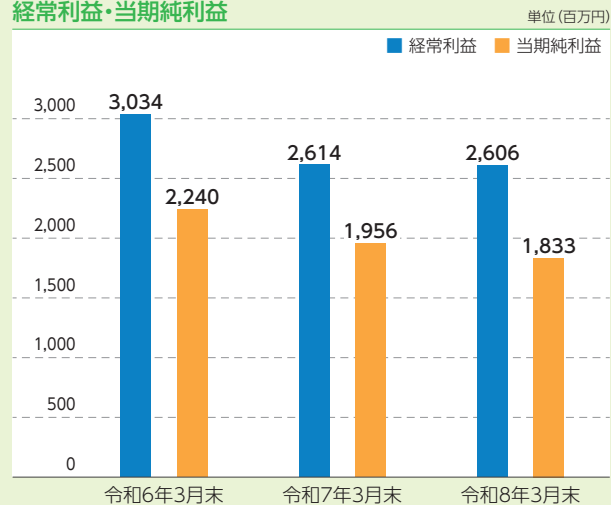
総資産・純資産



自己資本比率・自己資本額



経常利益・当期純利益



第102期貸借対照表

第102期貸借対照表

令和8年3月31日現在

[illegible]

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第102期損益計算書

第102期損益計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

科目	金額(千円)	
経常収益		17,584,798
資金運用収益	15,813,525	
貸出金利息	10,984,598	
預け金利息	1,565,382	
コールローン利息	967	
有価証券利息配当金	3,103,622	
その他の受入利息	158,953	
役務取引等収益	1,257,590	
受入為替手数料	424,814	
その他の役務収益	832,775	
その他業務収益	74,332	
外国為替売買益	23,716	
その他の業務収益	50,615	
その他経常収益	439,350	
償却債権取立益	296,426	
株式等売却益	141,595	
その他の経常収益	1,328	
経常費用		14,978,320
資金調達費用	2,395,384	
預金利息	2,384,682	
給付補填備金繰入額	10,702	
役務取引等費用	1,129,410	
支払為替手数料	119,678	
その他の役務費用	1,009,732	
その他業務費用	217,005	
国債等債券売却損	191,897	
その他の業務費用	25,108	
経費	10,816,166	
人件費	6,360,886	
物件費	3,736,762	
税金	718,517	
その他経常費用	420,353	
貸倒引当金繰入額	168,979	
貸出金償却	219	
株式等売却損	7,150	
その他資産償却	1,095	
その他の経常費用	242,909	
経常利益		2,606,478

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

第102期損益計算書 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

科目	金額(千円)	
特別損失		22,360
固定資産処分損	21,067	
その他の特別損失	1,293	
税引前当期純利益		2,584,117
法人税、住民税及び事業税	811,649	
法人税等調整額	△61,181	
法人税等合計		750,468
当期純利益		1,833,648
繰越金(当期首残高)		38,633,844
当期末処分剰余金		40,467,493

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

第102期剰余金処分 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

科目	金額(円)	
当期末処分剰余金		40,467,493,756
剰余金処分額		466,561,301
利益準備金		200,000,000
普通出資に対する配当金	(年2%)	266,561,301
次期繰越金		40,000,932,455

芝信用金庫

理事長	保科知行
専務理事	町田昌隆
常務理事	狩野孝寛
常務理事	山口智司
常勤理事	熊野孝司
常勤理事	坂尻宏幸
常勤理事	山谷愛美
常勤理事	佐藤英治
常勤理事	小笠原栄一
理事(職員外)	安藤拓郎
理事(職員外)	田中良一
理事(職員外)	竹ノ上藏造

以上監査の結果、適法かつ正確であることを認めます。

常勤監事	籠島政俊
監事(員外)	本橋敏雄
監事	岩井克文
監事	櫻井美沙子

●監事 本橋敏雄は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、
会計監査人の監査を受けております。

令和7年度

6月1日 金庫創立100周年を迎えました。

6月23日

「通常総代会及び創立100周年記念祝賀会」が帝国ホテル東京で開催されました。

- ① 第101期剰余金処分案承認の件
- ② 会員除名の件
- ③ 定款一部変更の件
- ④ 理事及び監事の報酬額(上限額)改定の件
- ⑤ 理事任期満了につき選任の件
- ⑥ 監事任期満了につき選任の件
- ⑦ 退任理事及び退任監事に対し退職慰労金贈呈の件



8月1日・10月16日・12月11日

「事業承継セミナー」を開催しました。

10月12日

「第44回みなと区民まつり」に参加しました。

11月16日

「MINATOシティハーフマラソン2025」へ協賛及び参加しました。

9月16日

小山支店西小山支店が新築リニューアルオープンしました。

11月10日

田柄支店が新店舗へ移転新規オープンしました。



3月8日 「しながわシティラン2026」へ協賛及び参加しました。

しばしん金融リテラシー向上プロジェクト

6月13日・27日

アントレプレナーシップ教育に参加・協力。

11月1日 「キッズフリマ」を開催。

11月5日・12月9日

大田区及び港区の小学校で「金融リテラシー向上のための課外授業」を開催。

1月23日 品川区キャリア教育「品川ドリームジョブ」に協力。品川区の小中一貫教育校で開催。



しばしんのSDGs宣言

芝信用金庫は「SDGs」の理念に賛同し、協同組織金融機関としての社会的責任と公共的使命のもと、様々な金融サービスを通じて、関係機関との連携・協力を図りながら、地域経済の発展と社会的課題の解決、持続可能でよりよい社会の実現を目指します。

(宣言日:2021年6月1日)

持続可能でよりよい社会の実現への取組み

金融サービスを通じたお客さまサポート

各種金融サービスや相談窓口などを通じて
事業者ならびに個人のお客さまの様々な課題解決に取組んでおります。

- エネルギー・ウクライナ情勢・円安等対応緊急融資の取扱い
- 各種事業支援(創業支援・営業支援・経営改善・事業再生・事業承継・女性創業)
- 各種相談窓口の提供(あらかじめ相談ブース等)
- 資産形成商品の取扱い ○無料年金相談会の開催



地域貢献への取組み・社会問題への取組み

地域の方々が住みやすく安心して生活できる
まちづくりのための取組みを行っております。

- 地域の高齢者見守り事業や認知症サポート事業との連携
- 未就学児用の外遊び場の無償貸与
- 「芝百年会」への加入 ○スポーツ競技への協賛
- 全店にAEDを設置 ○特殊詐欺防止のための啓発活動
- AML/CFT対策



環境問題への取組み

地球温暖化対策として省エネルギーや
CO₂削減のための取組みを行っております。

- クールビズ・ウォームビズの実施 ○環境配慮型金融商品の取扱い ○環境に配慮したノベルティの採用
- 業務効率化によるペーパーレス化の推進
- 環境負荷に配慮した紙製証書カバリの導入
- 店舗への太陽光発電設備の設置推進
- エコキャップ運動への参加



職員の満足度向上への取組み

職員の健康を守り働きがいのある職場環境の整備に
取組んでおります。

- 子育ておよび不妊治療と仕事の両立サポートへの取組み(「プラチナくるみんプラス認定」取得)
- 健康経営の取組み(健康優良企業「銀の認定」取得)
- 女性活躍の推進(「えるばし認定(2段階目)」取得)
- 育児・介護休業への取組み ○高齢者・障がい者雇用
- 福利厚生制度の充実

